

インド・ガンガーのほとりで.....



【インド】



レポーター
Shreeさん(サンスクリット名)
(ティルヴァンナーマライ 在住)



インド
人口:約12億1,000万人
面積:約3,290,000km²(日本の約8.7倍)
首都:ニューデリー

初めてのインド訪問は1986年。ネパールからバスで着いた街が、ガンガー(ガンジス河)と石段の沐浴場で有名な聖地ベナレスでした。この街で*ドゥルパド様式の音楽と出会いました。現在は南インド住まいですが、師を訪ねて、時々ベナレスに行きます。

街中の動物たち

ベナレスでは驚きの連続でした。町中が動物だらけ。ベナレス名物の筆頭は牛で、放し飼い同然で半野良状態の雄牛もいます。野良猿の集団はまるでギャング。うかうかしていると食べ物をとられてしまいます。いつも群れで生活する水牛は平穩で臆病ですが、パニックになり走り出すと急に止まれないので要注意。その他、犬、ヤギ、羊、ロバ、馬、象やラクダ、禿鶯など様々な鳥、河イルカ、その他様々な動物が街中にいます。飼われている動物も自由にしていて、日本では考えられません。衛生管理は自分で、がインドの流儀です。

インドの電気事情

日本とは大違いで、インドでは「計画停電」の毎日。だから「計画停電」なんて言葉はありません。突然停電することは日常茶飯事で、暑い季節ほど停電が多く、半日以上電気がない日が続きます。ですから、ベナレスで過ごした15年ほどは冷蔵庫のな



▲ベナレス/ガンガー(ガンジス河)の日の出



ベナレス/祭の朝▶

い生活でした。毎朝チャイを飲みにはバザールに行くので、その日必要な食材はその時買う。これが新鮮でおいしく、酷暑以外の季節はこれで十分。慣れると不便とは思わないものです。さすがに酷暑の頃は冷蔵庫があればと思いますが、半日以上停電するようでは無意味なのです。

ちなみに南インドに暮らす現在は、これほど長時間の停電はないので、小さな冷蔵庫を持っています。それでも毎日3時間、毎月1回は9時間ほど停電しますが、計画的に料理し、停電中に冷蔵庫をなるべく開けないようにすれば、アイスクリームでさえ溶けません。

もちろん病院などは発電機を持っています。暑い国ですから、これからはどんどん太陽の力を利用する時代になって行くでしょう。

ある年、日本から友人夫婦が家族でベナレスに遊びにきました。その一番の理由は、娘さん達に「どうであれ、たくましく楽しく生きて行けるんだ」という見本を見せたかったとか。そう、本当にインドの人々はいつも活き活き楽しそうです。

文・写真提供:Shree(桂まり子)さん

※ドゥルパド様式…現存する古典音楽の中で、インド最古の北インド古典音楽様式。声楽が主流で、とても瞑想的な即興音楽。

ベナレス/お寺に子牛▶



▼チャイ屋さん



◀南インド/ハヌマーンラングール(インドに生息するオナガザル)がベランダに

